

RS-ET62

PoE to RS-232C コンバーター

ユーザーズマニュアル

2025 年 7 月

第 3.2 版



ラトックシステム株式会社

第1章 はじめに	
(1-1) 製品仕様	1- 3
(1-2) 添付品	1- 4
(1-3) コネクタピンアサイン	1- 4
(1-4) 各部名称	1- 5
第2章 本製品との接続と設定について	
(2-1) 本製品の導入手順	2- 1
(2-2) RS-ET62 ConfigTool のインストール	2- 2
(2-3) ConfigTool ネットワーク設定	2- 4
(2-4) ConfigTool シリアル設定	2- 11
(2-5) ConfigTool オプション設定	2- 12
(2-6) ファームウェアアップデート方法	2- 13
(2-7) 初期化方法	2- 15
第3章 COM ポートへの割り当て	
(3-1) RATO VSP のインストール	3- 1
(3-2) COM ポートへの割り当て	3- 4
(3-3) 設定の編集	3- 9
(3-4) その他の機能	3-10
第4章 通信サンプルアプリケーションについて	
(4-1) 通信サンプルプログラムについて	4- 1
第5章 Appendix	
(5-1) 5 台以上接続時の COM ポート設定方法	5- 1

第1章 はじめに

本マニュアルは、本製品のファームウェア Ver.1.23 以降、CofigTool Ver.2.2.0.0 以降について書かれたものです。

ファームウェアのバージョンは、ConfigTool で本製品を検出後にご確認いただけます。

(第2章 参照)

RS-ET62 は、RS-232C 信号を TCP/IP プロトコルに変換するコンバーターです。RS-232C インターフェイスを備えており、シリアル通信機器と接続し、ネットワーク上に配置してデータ通信を行うことができます。

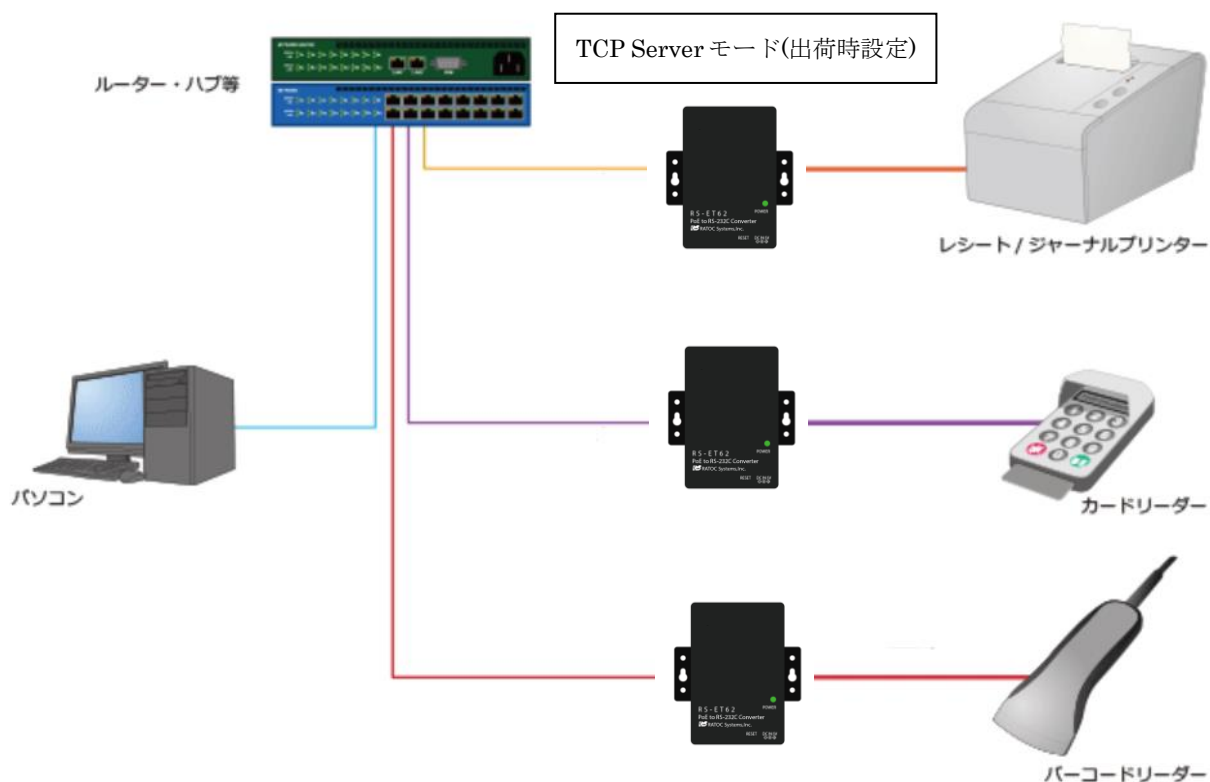
また、本製品は PoE 受電に対応しているので、PoE 対応のハブやインジェクターに接続することで AC アダプターを使用せずに本製品へ電源供給が可能です。

目的に合わせて以下の3種類の構成で利用が可能です。

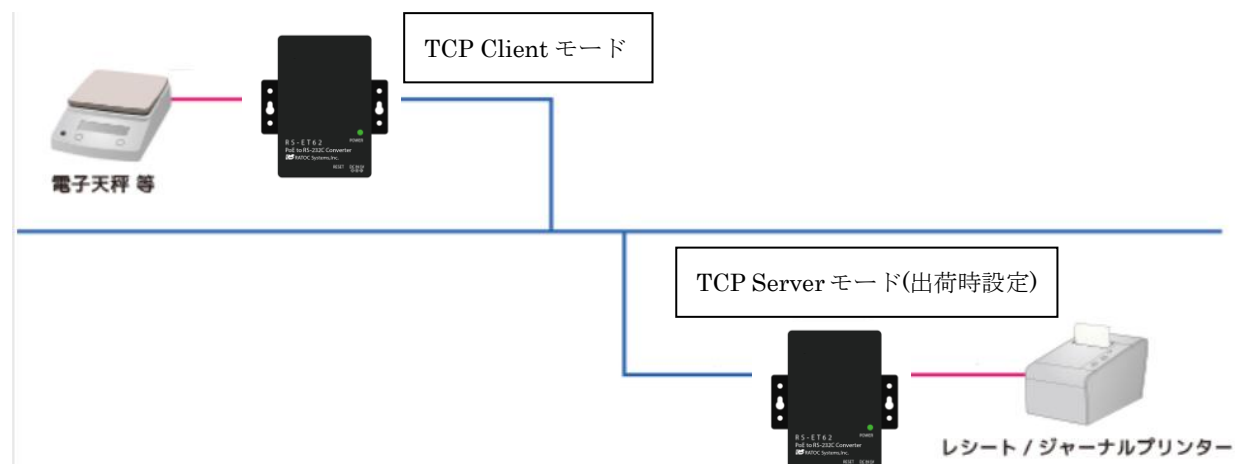
- ・標準モード(PC からネットワーク上の RS-232C 機器を制御)
- ・対向モード(ネットワーク上の RS-232C 機器同士を通信)
- ・M2M モード(ネットワーク上の RS-232C 機器と LAN 機器を通信)

※ 本製品の TCP Server/TCP Client モードの設定については
「第2章(2-3) ConfigTool ネットワーク設定」をご参照ください。

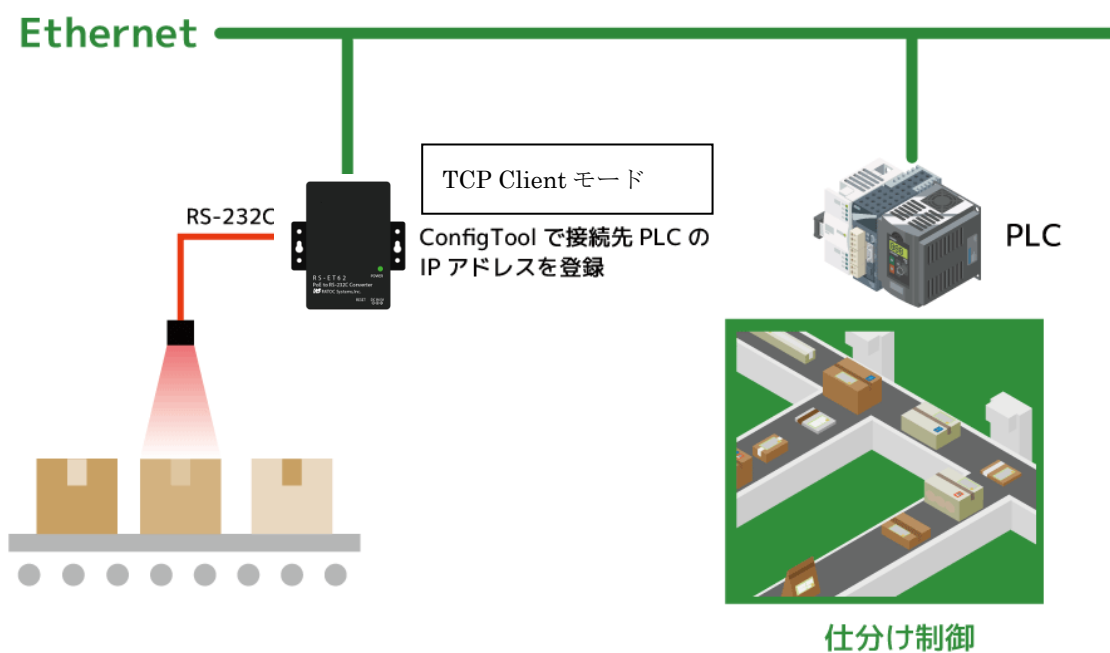
■ 標準モード(PC からネットワーク上の RS-232C 機器を制御)



■ 対向モード(ネットワーク上の RS-232C 機器同士を通信)



■ M2M モード(ネットワーク上の RS-232C 機器と Ethernet 機器を通信)



(1-1) 製品仕様

ハードウェア仕様

項 目	仕 様 内 容	
インターフェイス	RS-232C	EIA/TIA-232-F Standards 準拠
	Ethernet	IEEE802.3/802.3u/802.3az/802.3RMII 準拠 100BASE-TX
	PoE	IEEE802.3at Type1(802.3af) 準拠 PoE 受電機器(PD)
RS-232C トランシーバー	MaxLinear SP3232ECY(または同等品)	
Ethernet コネクタ	RJ-45 ×1	
RS-232C 接続コネクタ	D-Sub9Pin(オス)×1	
通信プロトコル	TCP/IP/DHCP	
RS-232C 入出力レベル	【ドライバー】 ハイレベル出力 : +5V(min)/+5.4V(TYP) ローレベル出力 : -5V(min)/-5.4V(TYP)	
	【レシーバー】 入力電圧範囲 : -15V(min.) ~ +15V(max.)	
RS-232C 通信方式	非同期通信	
RS-232C 通信仕様	データビット長 : 7/8 ストップビット : 1/2 パリティ : None/Even/Odd フロー制御 : なし ハードウェア RTS/CTS、DTR/DSR ソフトウェア XON/XOFF	
RS-232C 通信速度	1200/2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200bps	
伝送距離	Ethernet 100m	
外形寸法	約 100(L)×67(W)×23(T) [mm](突起部を除く)	
重量	約 230g(本体のみ)	
電源電圧	AC アダプター(別売り)使用時 +5V PoE 受電時 37V-57V	
消費電力	PoE 受電時 Class1 1.1W (最大)	
動作環境	温度 : 0~55℃ 湿度 : 20~80%(ただし結露しないこと)	

ソフトウェア仕様

項 目	仕 様 内 容
RS-ET62 ConfigTool	Ethernet 接続設定を行う。 シリアルポートの設定を行う。
COM エミュレート ドライバ(RATOC VSP)	本製品を仮想 COM ポートに割り当てる。
通信サンプルプログラム	RS-232C 送受信を行う。(COM モード/Socket モード) (ソースコード添付)
対応 OS	Windows 11 / 10 ※64-bit 版のみ対応

(1-2) 添付品

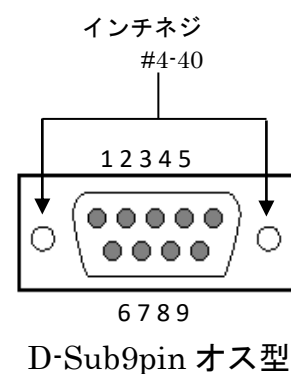
ご使用前に下記添付品が添付されているかをご確認願います。

- ☒ RS-ET62 本体
- ☒ 補足文書(RS-ET62 マニュアル・設定ツールのダウンロードについて)
- ☒ 埃防止ラベル(PoE 給電時に本体 DC ジャック内への埃防止用)
- ☒ 保証書

(1-3) コネクタピンアサインについて

各信号のコネクタピンアサイン及び機能は
下表のようになります。

ピン番	信号名	説 明
1	NC	未接続
2	RxD	データ受信
3	TxD	データ送信
4	DTR	端末レディ
5	GND	グラウンド
6	DSR	データセットレディ
7	RTS	データ送信要求
8	CTS	データ送信可能
9	NC	未接続

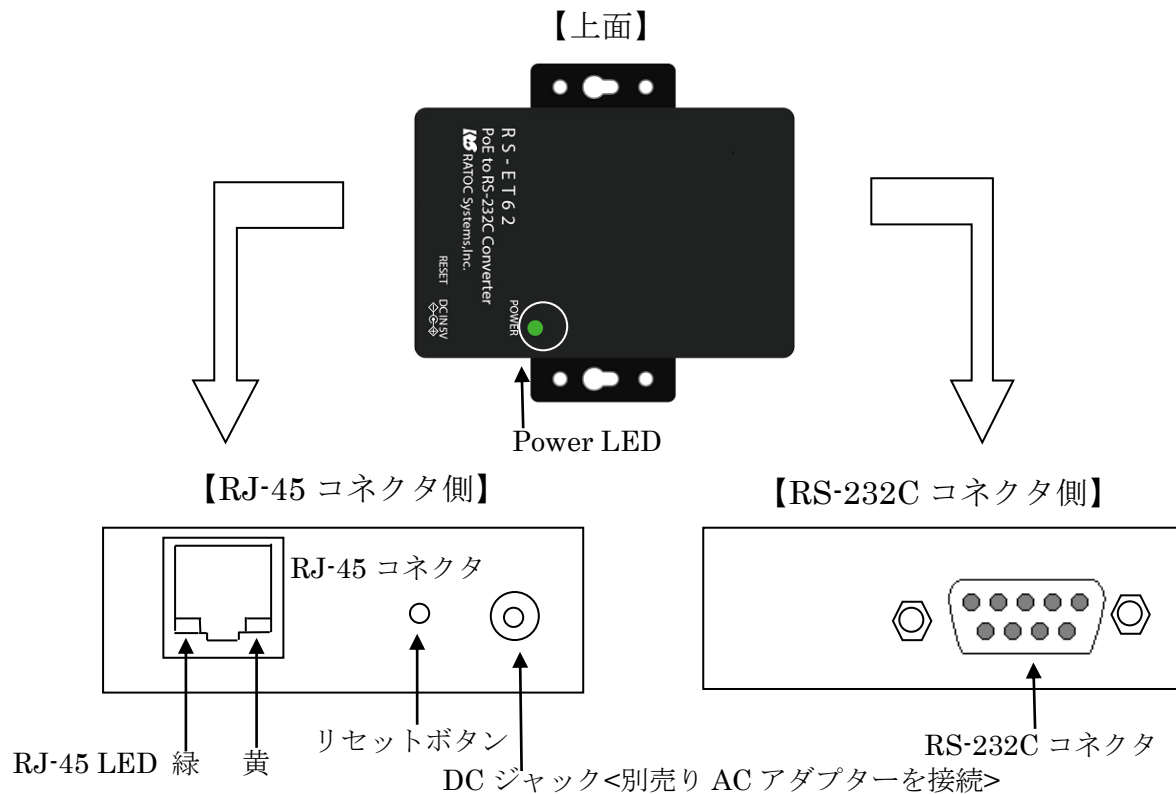


- ※ DCD/RI の機能は使用できません。
- ※ フロー制御は製品本体内で自動的に行なわれます。(Win32 通信 API での制御はできません)

(1-4) 各部名称

本製品の各部名称について説明します。

RS-232C 機器の取り付け/取り外しを行う場合は、必ず本製品と RS-232C 機器の電源を OFF にした状態で行ってください。電源が入った状態で取り付け/取り外しを行うと、本製品や接続機器が故障するおそれがあります。



LED について

LED	色	点灯	点滅
Power	緑	正常	データ通信中
	赤	ネットワーク未接続	ネットワーク未接続でシリアル側からデータ受信している
	橙	本製品への各設定値ファームを書込み中	---
RJ-45	緑	Link 時	ネットワーク未接続
	黄	Link 時	ネットワーク通信中

※ リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本製品の電源が OFF→ON となります。

(本製品の設定は保持されたままでリセットされません)

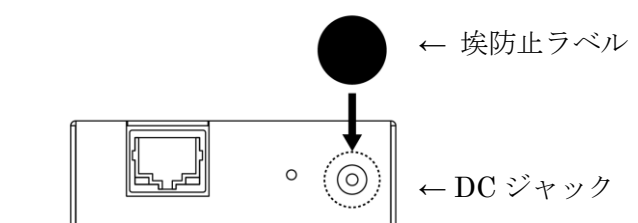
※ 付属の埃防止ラベルについて

PoE で本製品へ給電する場合

(AC アダプターを使用しない場合)

DC ジャックへ埃が入らないように

埃防止ラベルを貼り付けてご利用ください。



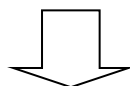
第2章 本製品との接続と設定について

(2-1) 本製品の導入手順

本製品を使用する前に、設定に使用する PC がネットワークに接続されていることを確認し、以下の手順に従って準備を行います。

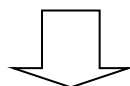
1. 本製品をネットワークに接続し電源を入れる
2. RS-ET62 ConfigTool(RS-ET62 用 Ethernet/シリアル設定ツール)をインストールし、ネットワーク設定とシリアル通信設定を行う
3. RATO VSP をインストールし、本製品を仮想 COM ポートに割り当てる
※ COM ポート制御アプリ使用時のみ利用します。(TCP Server モードのみ)
4. RS-232C 機器と接続し通信する

1. 本製品をネットワークに接続し電源を入れる



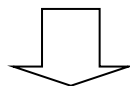
2. RS-ET62 ConfigTool をインストールし、ネットワーク設定とシリアル通信設定を行う

IP アドレス/ポート番号の割り当て設定と、シリアル通信設定を行ないます。
「第2章」へ



3. RATO VSP をインストールし、本製品を仮想 COM ポートに割り当てる

- ※ COM ポート制御アプリ使用時のみ利用します。(TCP Server モードのみ)
本製品を仮想 COM ポートに割り当てる場合は「第3章」へ
- ※ Socket API をご使用の場合は、「第2章」の設定が完了するとご使用いただけます。

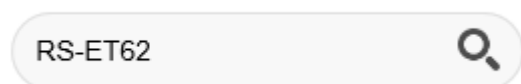


4. RS-232C 機器と接続し通信する

●RS-ET62 ConfigTool のダウンロード

ホームページ右上の検索欄に「RS-ET62」と入力し検索します。

<https://www.ratocsystems.com/>



下記ダウンロードページへのリンクをクリックします。

PoE to RS-232C コンバーター RS-ET62 - ラトックシステム

www.ratocsystems.com › [products](#) › [wireless](#) › [et62](#)

表示された RS-ET62 製品ページの「ダウンロード」をクリックし



「RS-ET62 用 Ethernet/シリアル設定ツール」をダウンロードします。

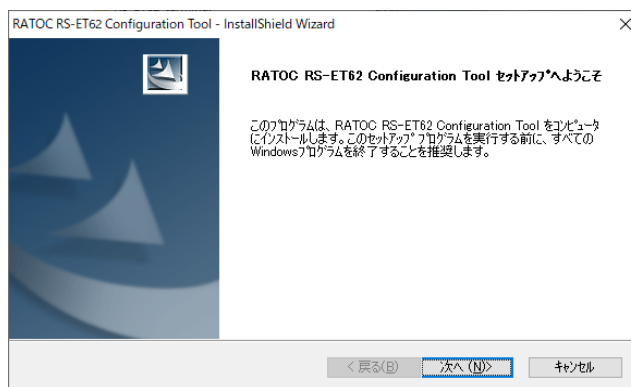
(2-2) RS-ET62 ConfigTool のインストール

ダウンロードした RS-ET62_ConfigTool_Setup.exe をダブルクリックします。

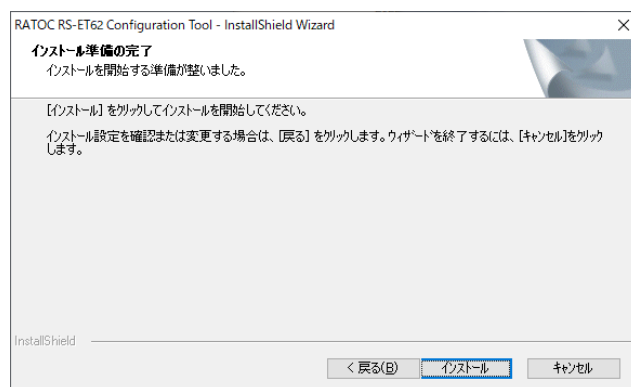
ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合は「はい」をクリックします。



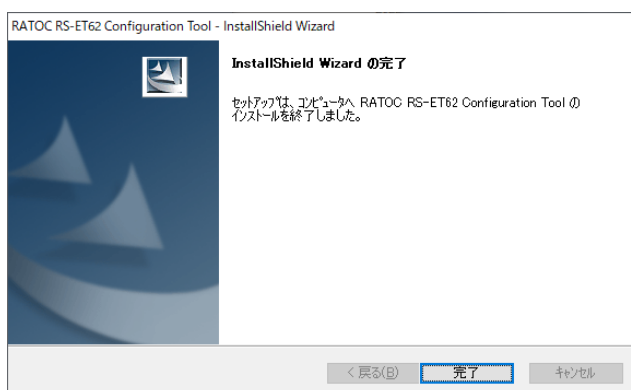
「次へ」をクリックします。



「インストール」をクリックします。



以上でインストールは完了です。



(2-3) ConfigTool ネットワーク設定

ConfigTool を起動すると[ネットワーク]タブが選択された画面が表示されます。
ここでは、本製品を検出しネットワークの確認・設定を行ないます。

【本製品の初期設定値】

IP アドレスの設定方法：手動

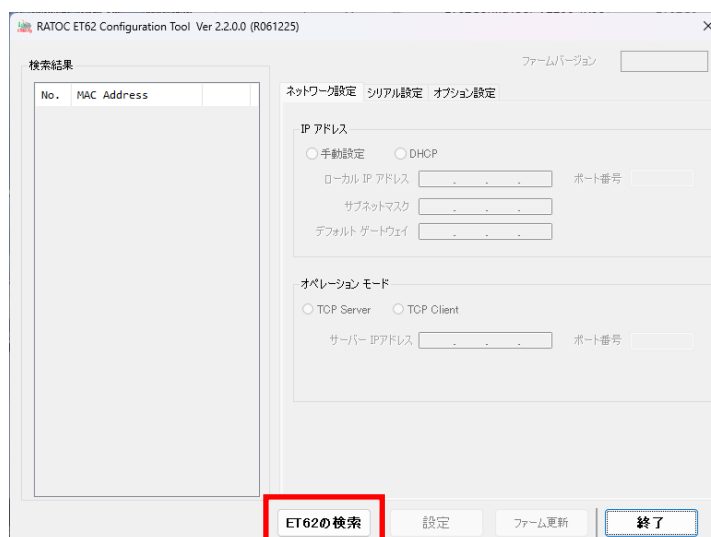
ローカル IP アドレス：192.168.11.2 ポート番号：5000

サブネットマスク：255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ：192.168.11.1

オペレーションモード：TCP Server

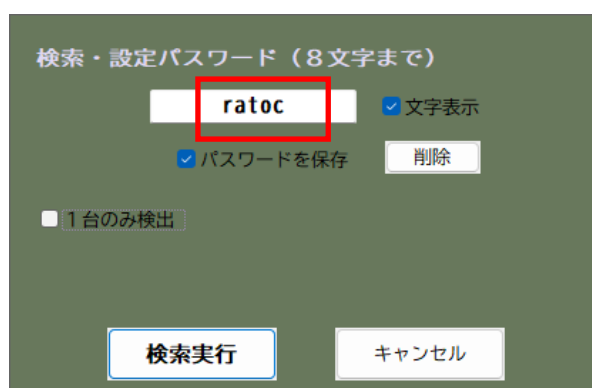
[ET62 の検索]をクリックし本製品を検出します。



パスワードを入力し「検索実行」をクリックします。

(本製品出荷時のパスワード設定値は ratoc)

「パスワードを保存」にチェックを入れて検索を実行すると、次回から自動的にパスワードが入力された状態となり、「削除」をクリックすると自動的に入力されなくなります。

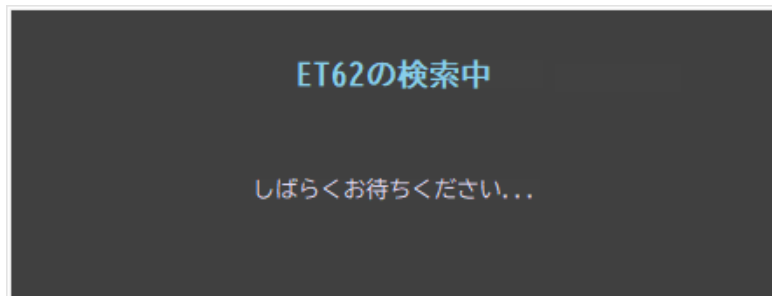


約 40 秒間検索が行われます。

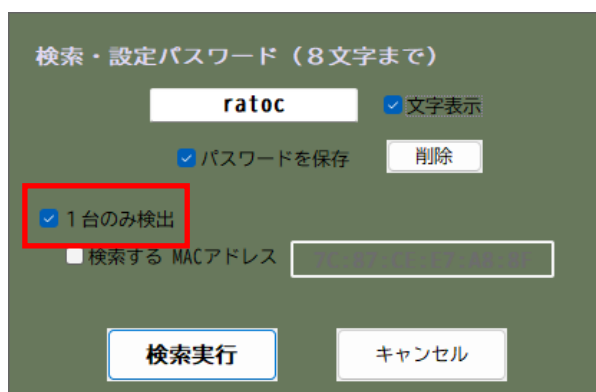
(ネットワークアダプターが 2 つある PC で ConfigTool が初期設定の場合。

※環境によって時間は変わります)

(途中で Esc ボタンを押すと、それまでに検出されていた本製品の情報が表示されます)



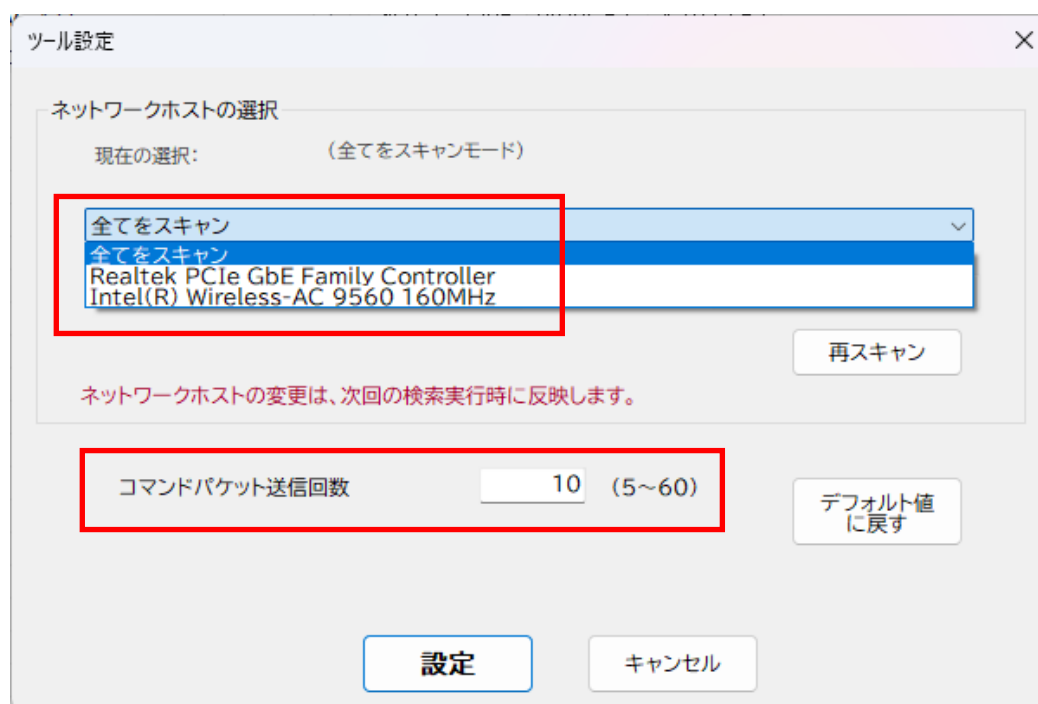
「1 台のみ検出」にチェックを入れて検索した場合は、初めに検出された製品の情報のみ表示されます。(同じネットワーク上で本製品を複数台接続した場合)



「検索する MAC アドレス」にチェック入れた場合は、入力された MAC アドレスを持っている本製品のみ検出されます。



初期設定では、PC 上の全てのネットワークホスト経由で 10 回検索しています。検索するネットワークアダプターの指定や検索回数を変更することにより、検索時間の短縮や、検出されない場合に検出できるようになります。ConfigTool の画面上部バーを右クリックし、「ツールの設定...」を選択します。



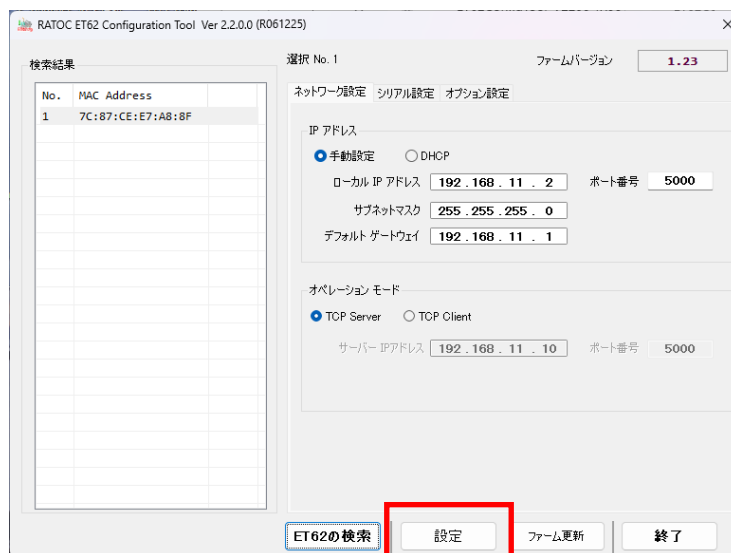
[ネットワークホストの選択]

複数ある場合、本製品が接続されているネットワークホストを指定することで、検索時間が短縮されます。
(デフォルト：全てをスキャン)

[コマンドパケット送信回数]

少なくすることにより、検索時間が短縮されます。
検出されない場合、回数を多くすることにより検出される場合もあります。
(デフォルト：10)

本製品が検出されると、検索結果一覧に MAC Address が表示されます。
また、本製品に割り当てられた IP アドレス/ポート番号/サブネットマスク/
デフォルトゲートウェイ/オペレーションモードが表示されます。
設定を変更する場合は、設定変更後に[設定]をクリックします。

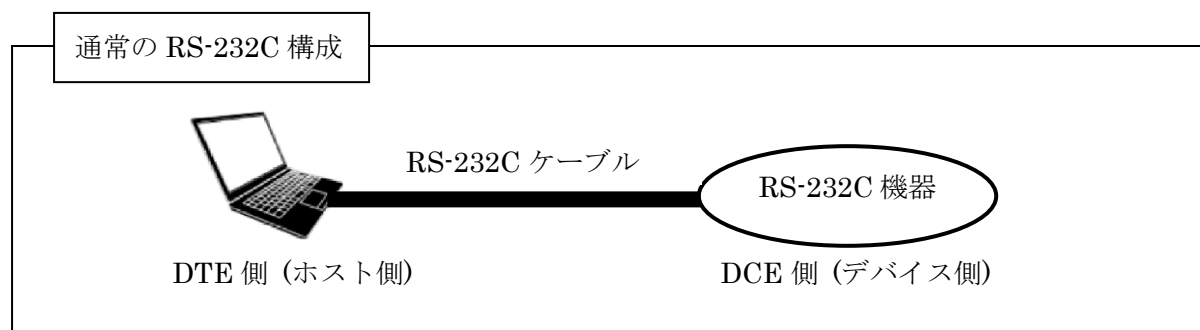


IP アドレス

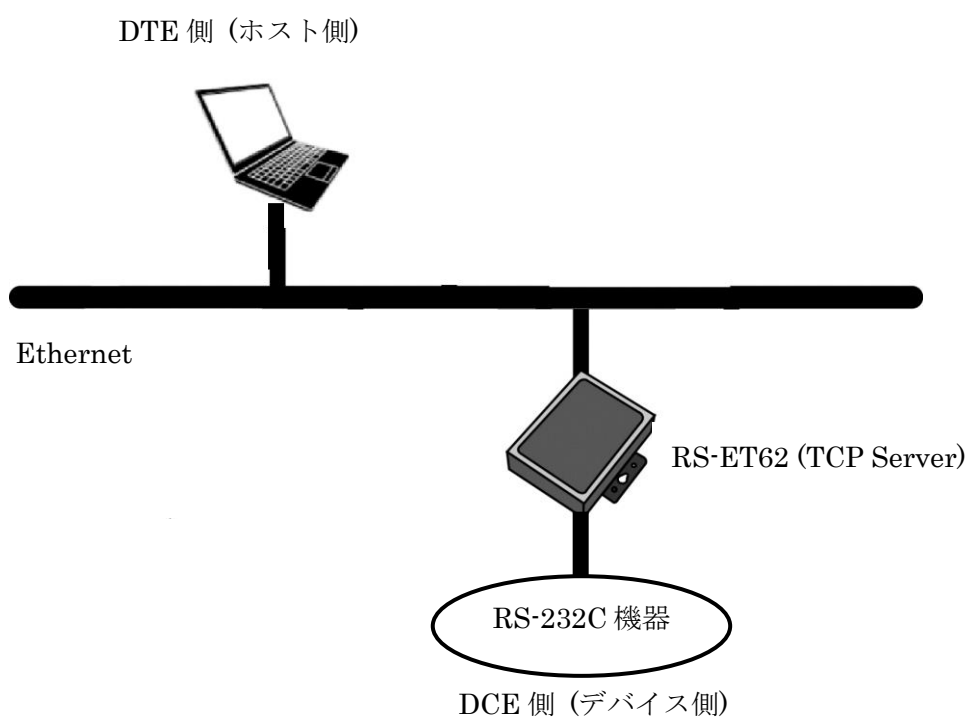
[手動設定] -- IP アドレスを固定で指定する場合に選択します。

[DHCP] -- IP アドレスを DHCP サーバーから自動で取得する場合に選択します。

※ 本製品の IP アドレスを DHCP(=自動設定)とした場合、
IP アドレスが意図しないタイミングで変更となる可能性があります。
システムの安定性などを考慮し、本製品では IP アドレスの手動設定
を推奨します。(詳しくはネットワーク管理者にご相談ください)

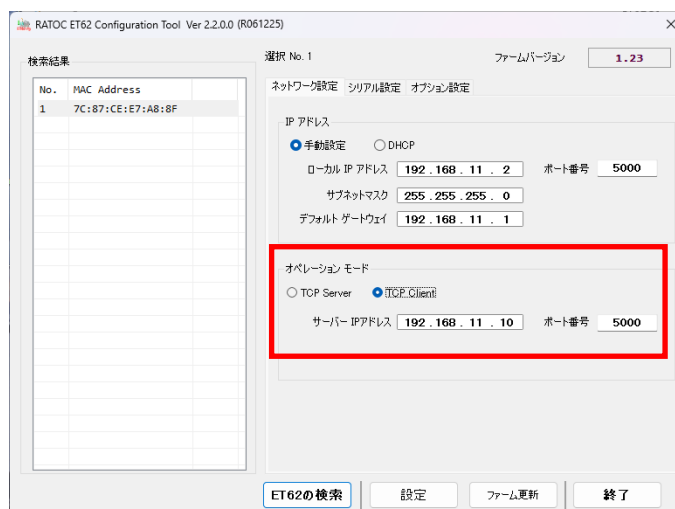
オペレーションモード• **TCP Server (出荷時設定)**

-- 本製品を上記構成の DCE 側(デバイス側)に接続する場合に設定します。



・TCP Client (RS-ET62 に接続された RS-232C 機器間の通信)

- 本製品を前ページ構成の DTE 側(ホスト側)に接続する場合に設定します。
 接続できる DTE 機器は、WindowsPC・PLC・DTE 機能を持ったシリアル機器
 など、OS の種類や搭載/非搭載に依存しません。



接続先に TCP Server モードに設定した RS-ET62 の IP アドレスとポート番号を指定することで、RS-ET62(TCP Server モードと TCP Client モード)に接続した RS-232C 機器同士の通信が可能となります。

(TCP Server モードについては前ページをご参照ください)

上記設定画面での例

DTE 側(ホスト側)

RS-232C 機器



RS-ET62 [TCP Client]

(192.168.11.2 ポート番号 5000)

※接続先に RS-ET62 (TCP Server)の

192.168.11.10 ポート番号 5000 を指定

Ethernet



RS-ET62 [TCP Server]

(192.168.11.10 ポート番号 5000)

RS-232C 機器

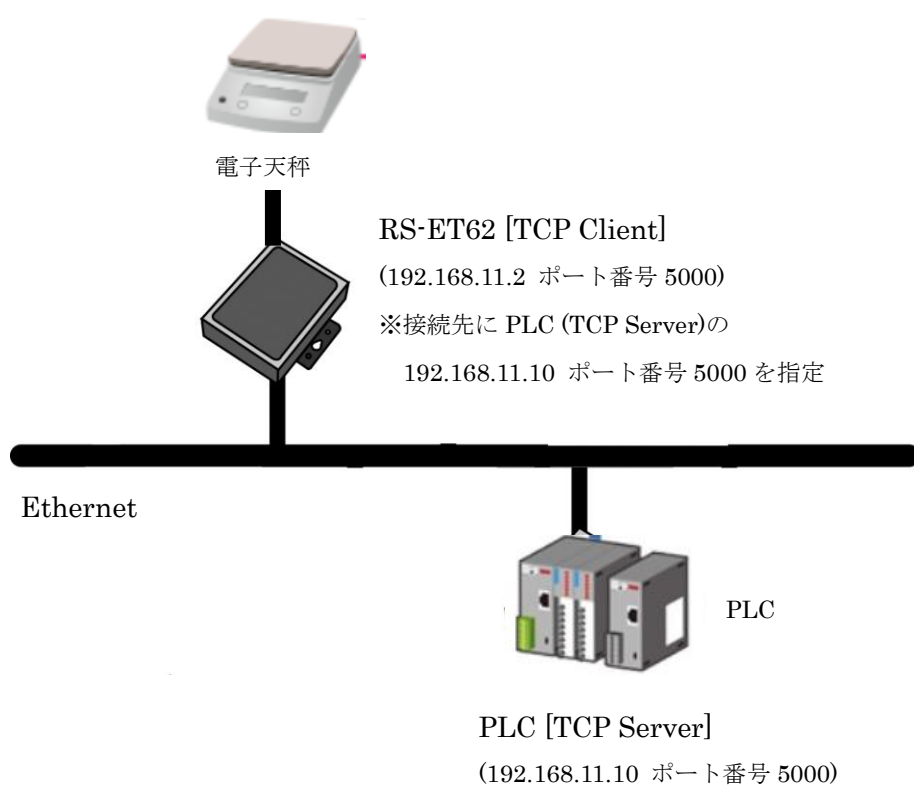
DCE 側(デバイス側)

・TCP Client (RS-232C 機器と LAN 機器間の通信)

- 前ページでの構成の RS-ET62[TCP Server]を LAN 機器(PLC など)に置き換えた構成です。

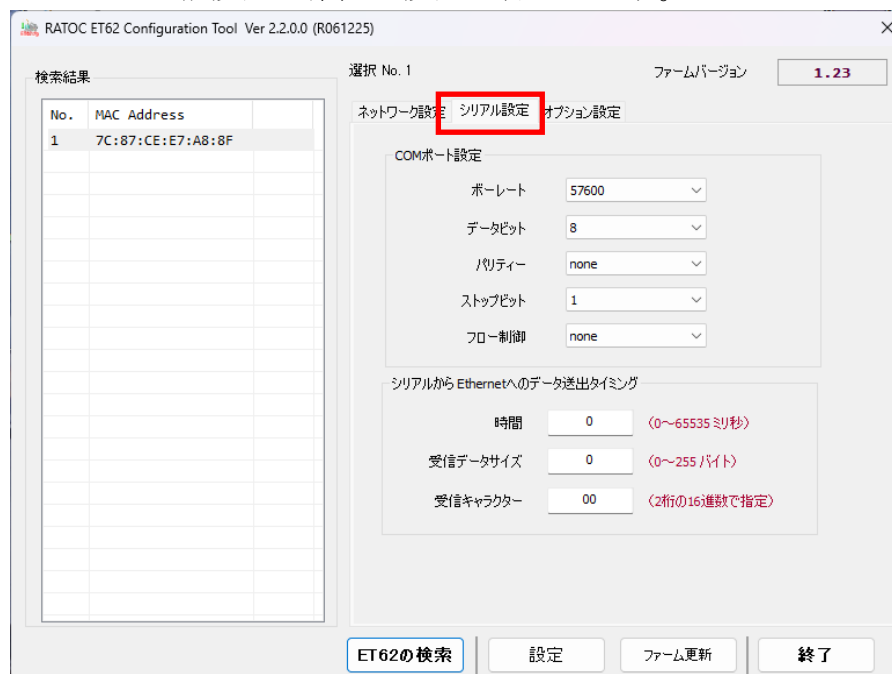
接続先に LAN 機器(TCP Server)の IP アドレスとポート番号を指定することで、RS-ET62(TCP Client モード)に接続した RS-232C 機器と LAN 機器間の通信が可能となります。

(TCP Server モードについては前ページをご参照ください)

電子天秤と PLC との接続例

(2-4) ConfigTool シリアル設定

[シリアル]タブを選択するとシリアル通信設定の画面が表示されます。
ここでは、シリアル通信設定の確認・設定を行ないます。



設定変更後に[設定]をクリックします。

[COM ポート設定] -- 各通信パラメーターを設定します。

(※ 本製品はここで設定した通信プロパティで動作します。)

【初期設定値】

ボーレート : 57600
データビット : 8
パリティ : NONE
ストップビット : 1
フロー制御 : NONE

[シリアルから Ethernet へのデータ送出タイミング]

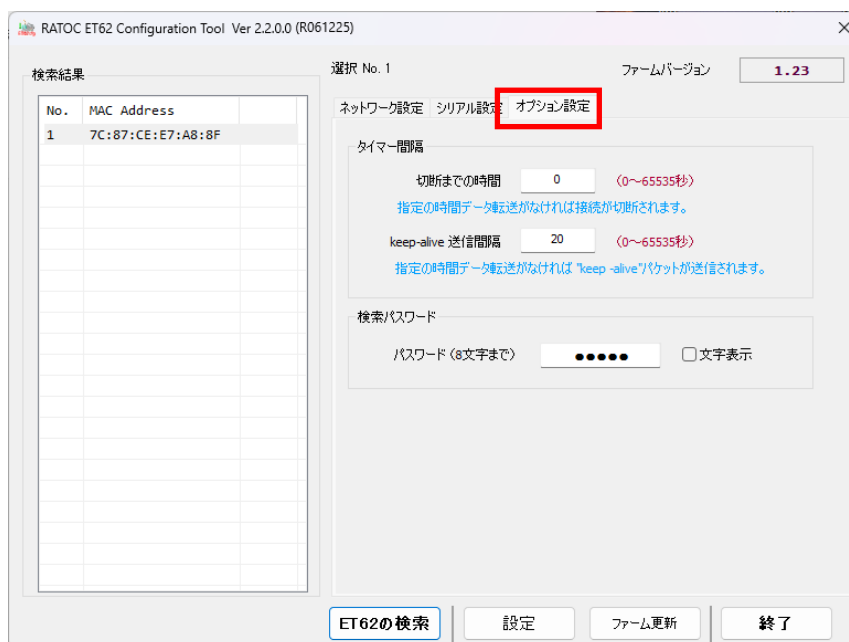
(初期設定値の場合、これらの設定は使用されません)

- ・ 時間 -- 指定時間シリアルバッファ内に新しいデータが受信されない場合、シリアルバッファ内のデータが Ethernet へ送出されます。
(初期設定値 : 0)
- ・ 受信データサイズ -- シリアルバッファ内に指定サイズのデータが受信されるとシリアルバッファ内のデータが Ethernet へ送出されます。(初期設定値 : 0)
- ・ 受信キャラクター -- 指定したキャラクターが受信されると、受信バッファ内のデータが Ethernet へ送出されます。(初期設定値 : 00)

(2-5) ConfigTool オプション設定

[オプション]タブを選択すると接続設定と各種パスワード設定の画面が表示されます。

ここでは、接続切断までの時間、“keep-alive”パケット送信間隔、検索パスワードの確認・設定を行ないます。



設定変更後に[設定]をクリックします。

[タイマー間隔]

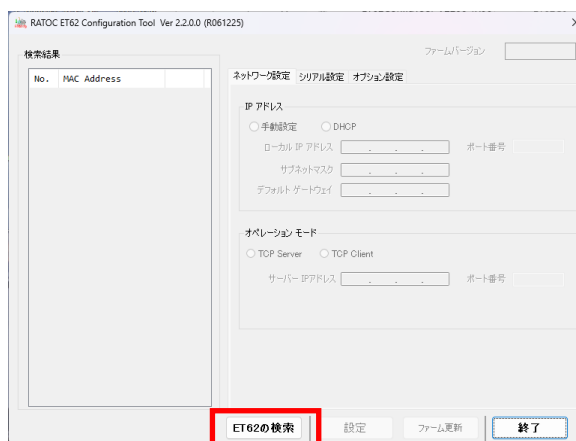
- ・ 切断までの時間 -- 指定時間データ転送がなければ接続が切断されます。
(初期設定値：0 / 切断されない)
 - ・ “keep-alive”送信間隔 -- 指定時間転送がなければ“keep-alive”パケットが送信されます。(初期設定値：20)
- ※ RATO VSP で「Keep alive 送信間隔」(第3章)を設定した場合も本設定と両方の設定が有効になります。

[検索パスワード] -- [検索]で検索時のパスワードを、英字(大文字小文字を区別)、数字、記号 8 文字までで設定します。(初期設定値：ratoc)

(2-6) ファームウェアアップデート方法

ここでは、本製品のファームウェアアップデート方法について説明を行ないます。
(ファームウェアのアップデートで本製品に設定されている内容は変更されません)

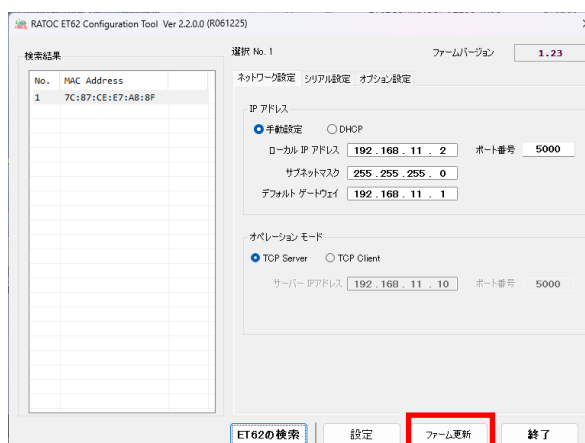
ConfigTool を起動し[ET62 の検索]をクリックします。



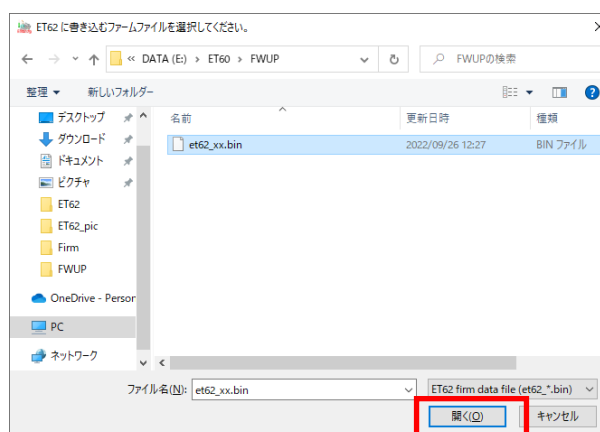
パスワードを入力し「検索実行」をクリックします。
(本製品出荷時のパスワード設定値は ratoc)



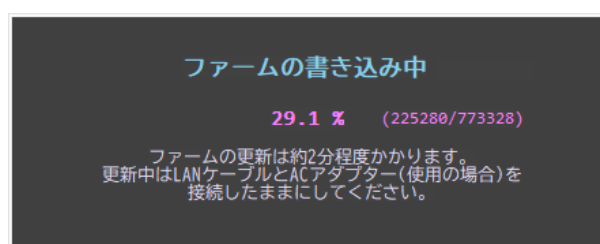
本製品が検出されると、検索結果一覧に MAC Address が表示されます。
ファームウェアをアップデートする
本製品を[MAC Address]欄より選択し、[ファーム更新]をクリックします。



書き込むファームウェアを指定し
「開く」をクリックします。



ファームウェアの書き込みには数分程度
かかります。
更新中はLAN ケーブルと AC アダプタ
ー(使用の場合)を接続したままにして
ください。



ファームウェアの書き込みに成功する
と「ファームのアップデートが完了
しました。」と表示されます。



以上でファームウェアのアップデートは完了です。

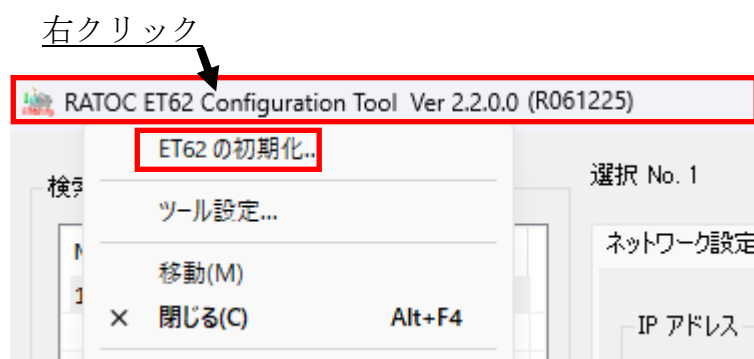
(2-7) 初期化方法

ここでは、工場出荷時設定に初期化する方法について説明を行ないます。

※本機能は、ファームウェア Ver.1.23 以降に対応しています。

※初期化すると、すべての設定が初期設定値となります。(次ページ参照)

ConfigTool の画面上部バーを右クリックし、「ET62 の初期化...」を選択します。



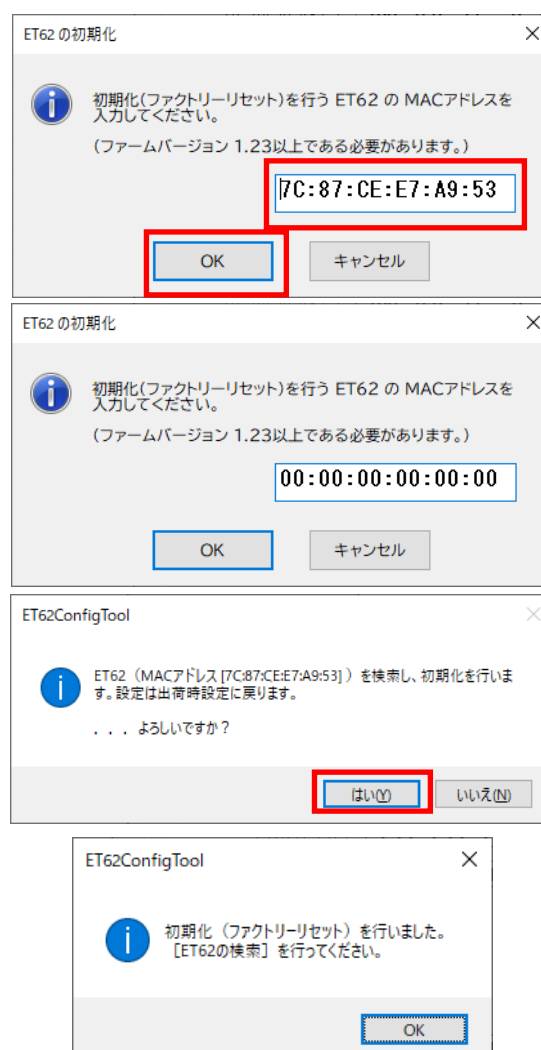
[検索結果]に本製品が表示されている場合は、自動的に MAC アドレスが表示されますので、初期化を行う製品の MAC アドレスと一致するかを確認してから「OK」をクリックします。

[検索結果]に本製品が表示されていない場合は、MAC アドレスを指定する必要があります。

(ただし、指定した製品が PC 上から検出できない場合は初期化することができません)

初期化する場合は「はい」をクリックします。

以上で初期化は完了です。



● 本製品の初期設定値

本製品の工場出荷時設定(初期化後の設定)は以下の通りとなります。

■ ネットワーク設定

IP アドレスの設定方法：手動

ローカル IP アドレス：192.168.11.2 ポート番号：5000

サブネットマスク：255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ：192.168.11.1

オペレーションモード：TCP Server

■ シリアル設定

[COM ポート設定]

ボーレート：57600

データビット：8

パリティ：NONE

ストップビット：1

フロー制御：NONE

[シリアルから Ethernet へのデータ送出タイミング]

時間：0

受信データサイズ：0

受信キャラクター：00

■ オプション設定

[タイマー間隔]

切断までの時間：0

keep-alive 送信間隔：20

[検索パスワード]

パスワード(8 文字まで)：ratoc

第3章 COMポートへの割り当て

第2章で本製品への設定後、ホームページよりダウンロードした RATOC VSP (COM ポートエミュレートドライバ) にて、本製品に割り当てられた IP アドレス/ポート番号を仮想 COM ポートへ割り当てることができます。

● RATOC VSP のダウンロード

ホームページ右上の検索欄に「RS-ET62」と入力し検索します。

<https://www.ratocsystems.com/>

RS-ET62



下記ダウンロードページへのリンクをクリックします。

PoE to RS-232C コンバーター RS-ET62 - ラトックシステム

[www.ratocsystems.com](https://www.ratocsystems.com/products/wireless/et62) > [products](#) > [wireless](#) > [et62](#)

表示された RS-ET62 製品ページの「ダウンロード」をクリックし

ダウンロード

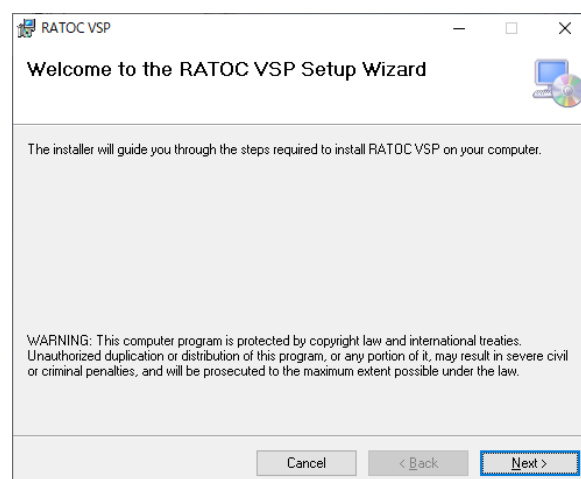


「COM ポートエミュレートドライバ RATOC VSP」をダウンロードします。

(3-1) RATOC VSP のインストール

ダウンロードした RATOCVSP.msi を実行します。

「Next」をクリックします。



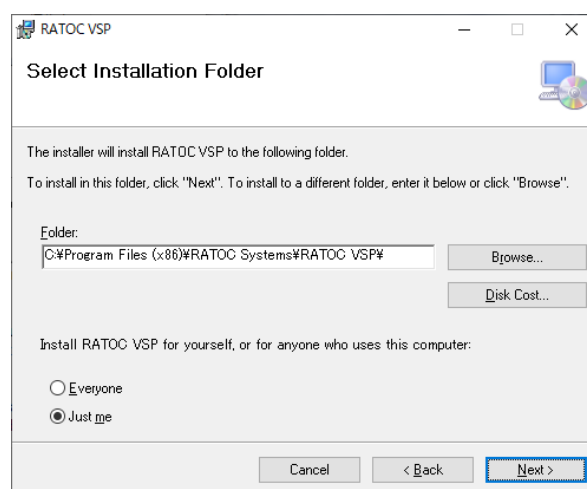
「I Agree」を選択し「Next」をクリックします。



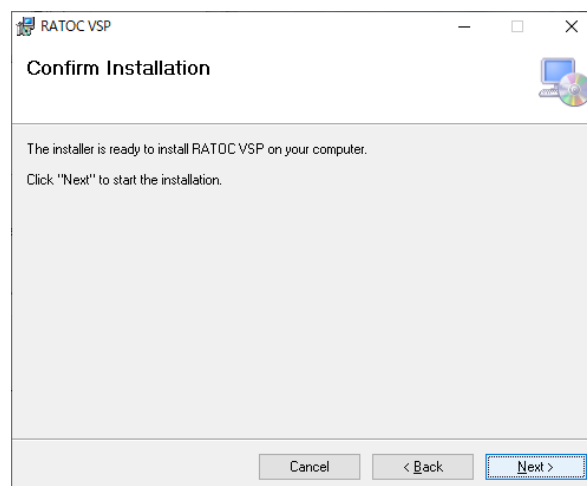
インストール先を選択し「Next」をクリックします。

[Everyone] -- この PC を使用しているすべてのユーザーが使用する場合。

[Just me] -- 現在使用中のユーザーのみ使用する場合。



「Next」をクリックします。

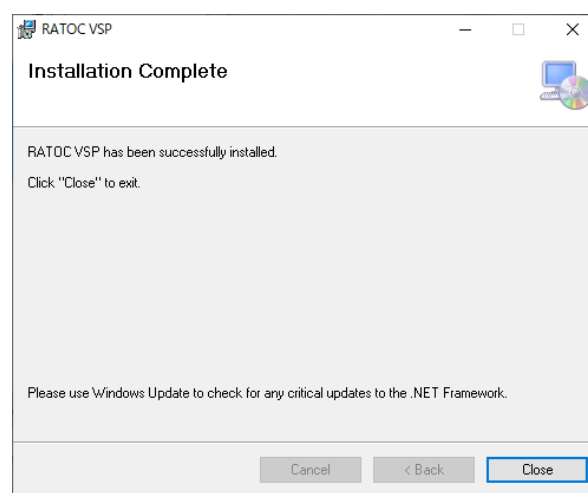


ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合は「はい」をクリックします。



以上でインストールは完了です。

「Close」をクリックします。



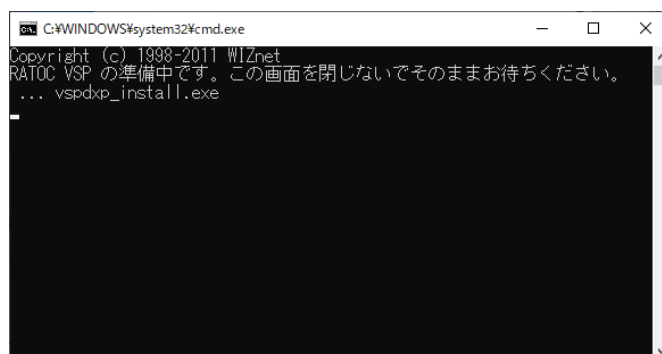
(3-2) COM ポートへの割り当て

RATOC VSP を起動します。

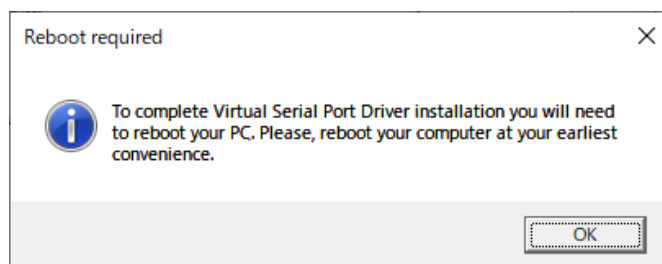
「ユーザーアカウント制御」の画面が表示される場合は「はい」をクリックします。



初回起動時はコマンドプロンプト画面が表示されますが、RATOC VSP が起動するまで、そのまま待ちます。



右画面が表示される場合は、OS を再起動します。



【COMポートへ割り当てる手順】

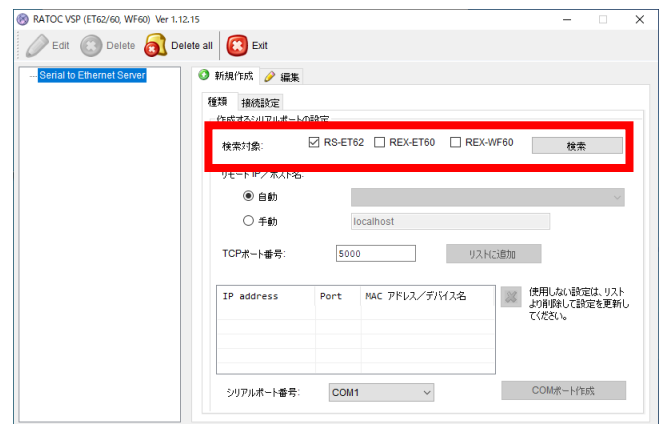
製品の IP アドレスを自動で検索する方法と、手動で入力する方法があります。

1. 検出と COM ポート追加の準備

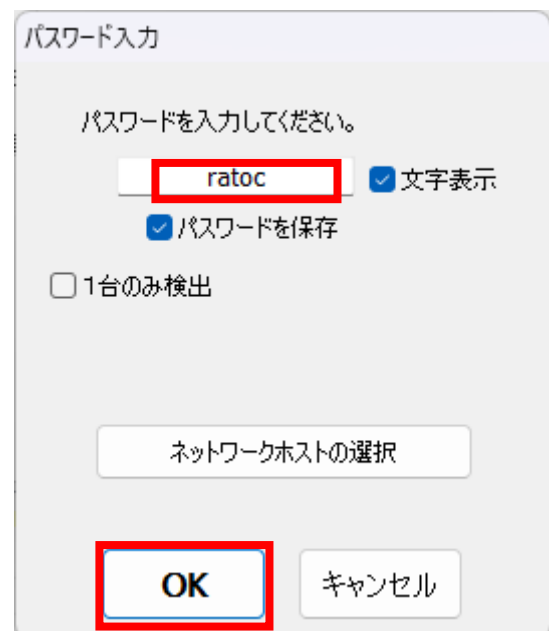
RS-ET62 にチェックを入れます。
([TCP ポート番号]に「5000」が自動的に
設定されます)

【自動で検索する場合】

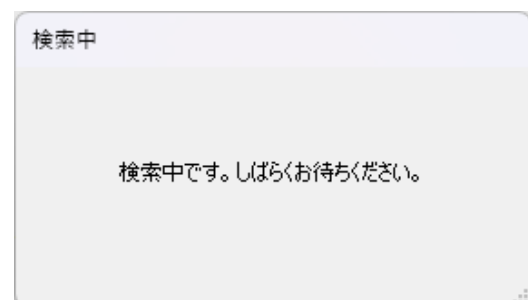
[自動]を選択し「検索」をクリック
します。



RS-ET62 を選択した場合は、
検索用パスワードの入力が必要です。
初期設定値は「ratoc」となります。
(パスワードの変更方法については
「(2-5) ConfigTool オプション設定」を
ご参照ください。)
「パスワードを保存」にチェックを入れて
OK ボタンで検索を実行すると、
次回から自動的にパスワードが入力
された状態となります。



約 30 秒間検索が行われます。
(ネットワークアダプターが2つある PC
で RATO VSP が初期設定の場合。
※環境によって時間は変わります)
(途中で Esc ボタンを押すと、
それまでに検出されていた本製品の
情報が表示されます)



「1台のみ検出」にチェックを入れて検索した場合は、初めに検出された製品の情報のみ表示されます。
(同じネットワーク上で本製品を複数台接続した場合)

「検索する MAC アドレス」にチェック入れた場合は、
入力された MAC アドレスを持っている本製品のみ検出されます。

初期設定では、PC 上の全てのネットワークホスト経由で 10 回検索しています。

検索するネットワークアダプターの指定や検索回数を変更することにより検索時間の短縮や、検出されない場合に検出できるようになることがあります。

「ネットワークホストの選択」をクリックしてそれらの変更が可能です。

ネットワークホストの選択

複数ある場合、本製品が接続されているネットワークホストを指定することで検索時間が短縮されます。
(デフォルト：全てをスキャン)

コマンドパケット送信回数

少なくすることにより、検索時間が短縮されます。
検出されない場合、回数を多くすることにより検出される場合もあります。
(デフォルト：10)

パスワード入力

パスワードを入力してください。

ratoc ☒ 文字表示

☒ パスワードを保存

☒ 1台のみ検出

☒ 検索する MAC アドレス

00:00:00:00:00:00

ネットワークホストの選択

OK キャンセル

パスワード入力

パスワードを入力してください。

ratoc ☒ 文字表示

☒ パスワードを保存

☒ 1台のみ検出

☒ 検索する MAC アドレス

00:00:00:00:00:00

ネットワークホストの選択

OK キャンセル

ネットワークホスト設定

ネットワークホストの選択

全てをスキャン

全てをスキャン

Realtek PCIe GbE Family Controller

Intel(R) Wireless-AC 9560 160MHz

再スキャン

コマンド/パケット送信回数 10 (5~60)

デフォルト値に戻す

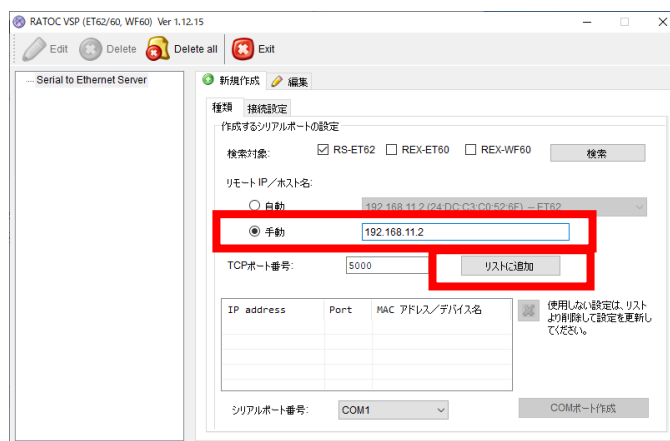
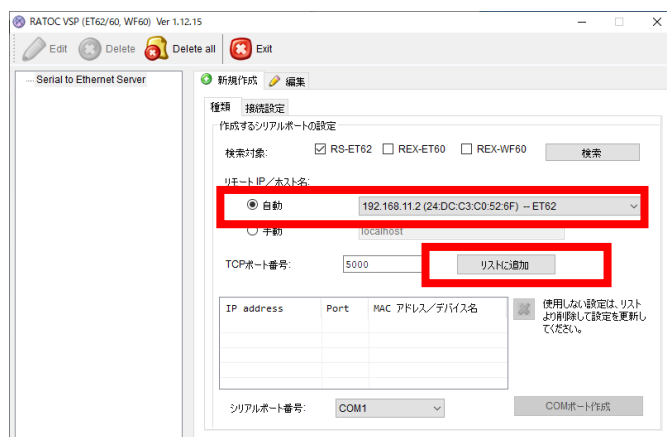
設定 キャンセル

検出されると、[リモート IP/ホスト名] に製品の IP アドレスと MAC アドレスが表示されますので、「リストに追加」をクリックします。

※ [自動]では4台までの検索となります。
同一ネットワーク上に5台以上接続している場合については「第5章 Appendix」をご参照ください。

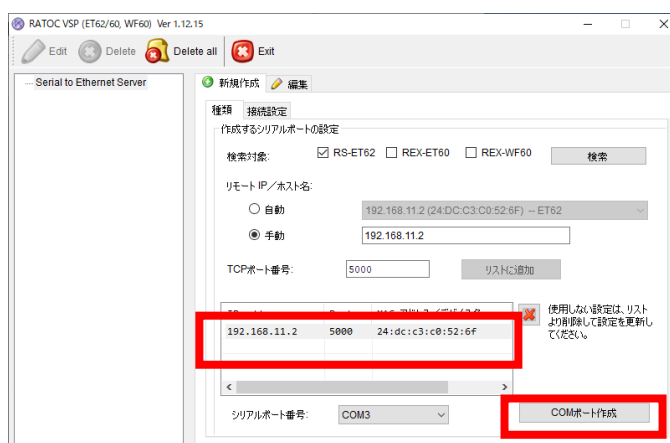
【手動で入力する場合】

[手動]を選択し、あらかじめ確認しておいた製品の IP アドレスを入力し「リストに追加」をクリックします。



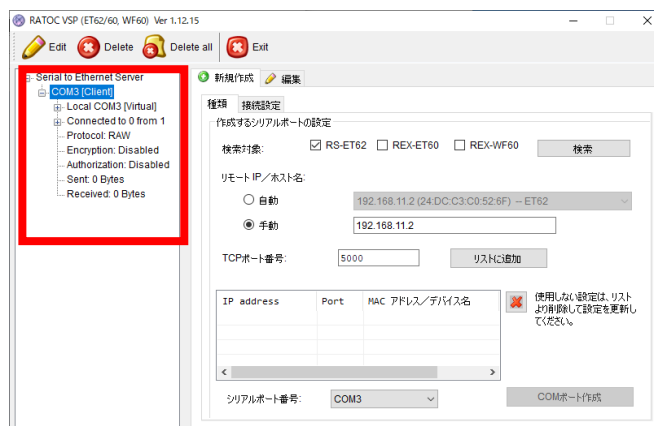
2. COMポートの追加

リストに追加されたことを確認し
[シリアルポート番号]を選択
「COMポート作成」をクリックします。

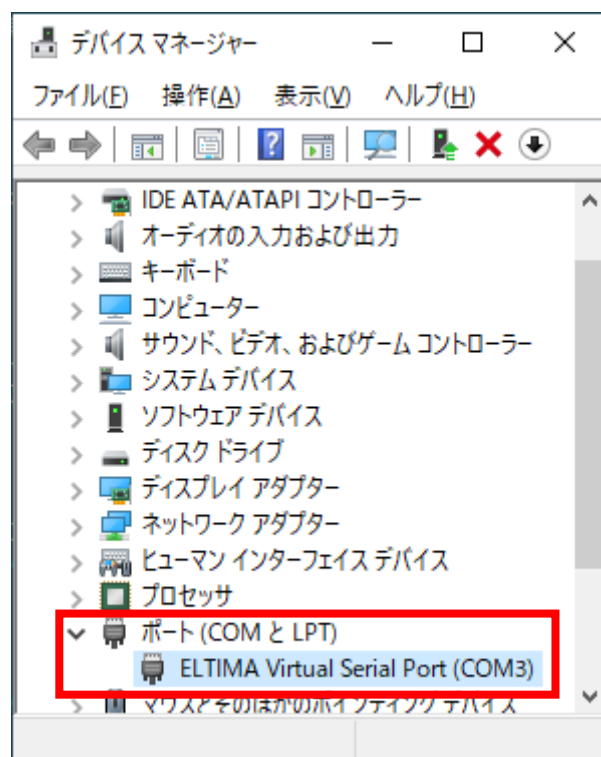


RATOC VSPの左欄に仮想COMポートの情報が追加されます。

- ※ IPアドレスをDHCPサーバーより動的に割り当てている場合、IPアドレスが変更されることがあります。
- IPアドレスが変更されている場合は「(3-3) 設定の編集」を参照いただき再設定を行ってください。

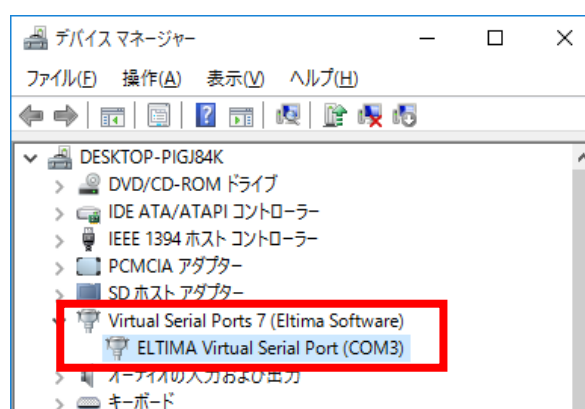


仮想COMポートが追加されると、デバイスマネージャーの[ポート(COMとLPT)]に[ELTIMA Virtual Serial Port (COMxx)]が追加されます。



- [ポート(COMとLPT)]に追加されていない場合

[Virtual Serial Ports 7 (Eltima Software)]の下に追加される場合も同様にご使用いただけます。

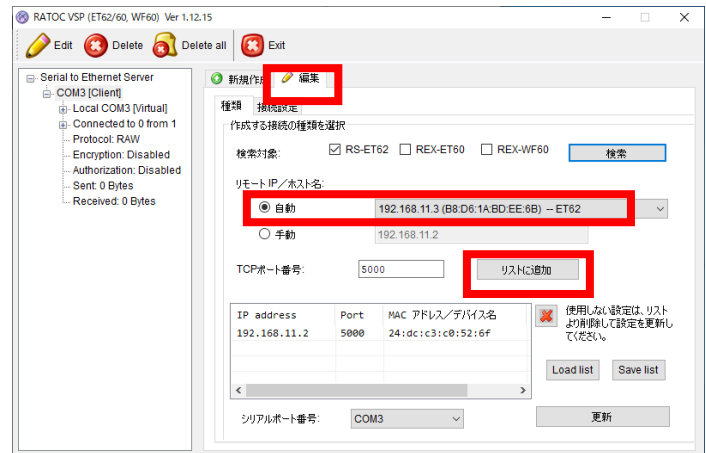


(3-3) 設定の編集

作成済み設定の[リモート IP/ホスト名][シリアルポート番号]を変更することができます。

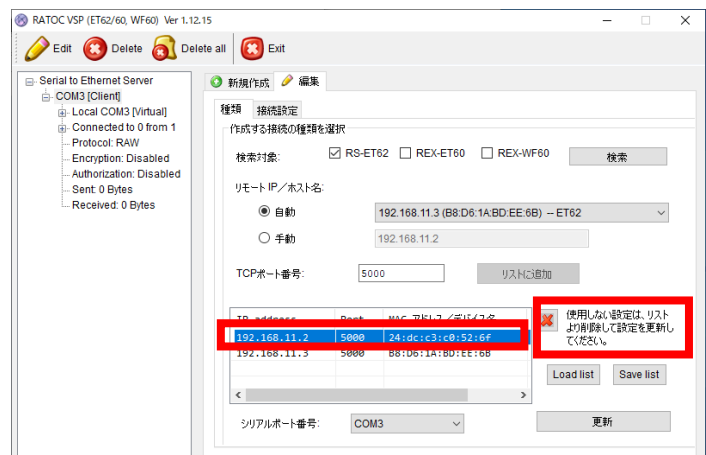
1. [編集]タブをクリックし、
「(3-2) COMポートの割り当て」と同様に製品を検索します。

検出された製品を選択し
「リストに追加」をクリックします。



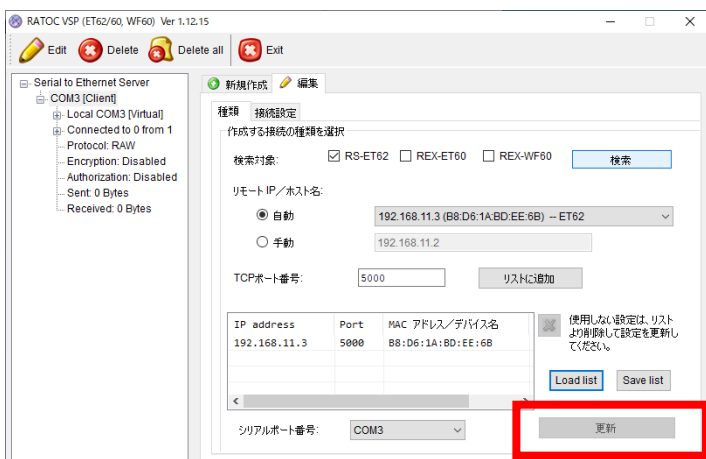
2. 使用しない設定はリストより削除します。

(リスト内には1つのIPアドレスでの運用を推奨します。)



3. 「更新」をクリックすると変更した内容に更新されます。

(シリアルポート番号を変更する場合は、COMポート番号も変更した後に「更新」をクリックします。)

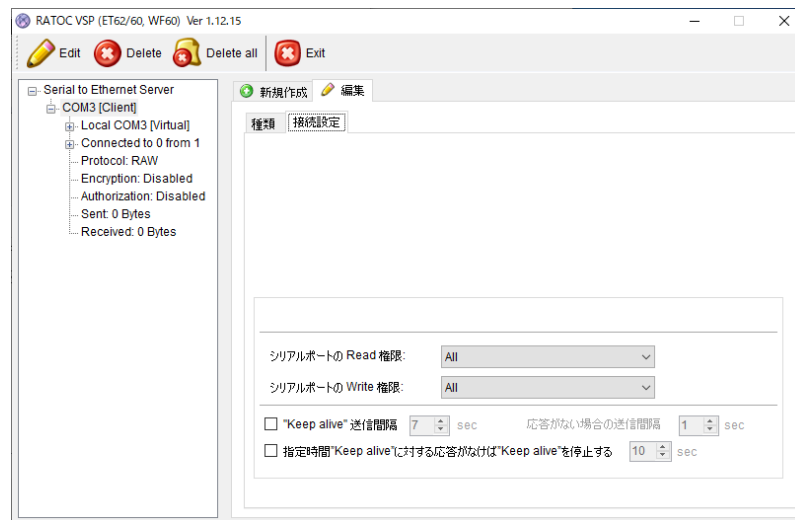


[Save list] -- 設定された IP アドレス/TCP ポート番号の情報をファイル保存します。
(MAC アドレス/デバイス名は保存されません)

[Load list] -- 保存した IP アドレス/TCP ポート番号の情報をロードします。

(3-4) その他の機能

RATOC VSP の[接続設定]の機能について説明します。



[シリアルポートの Read 権限]

- All -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、すべての製品でデータ受信します。(初期設定値)
- None -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、すべての製品がデータ受信しません。
- Only first -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、リストの一番上に登録されている製品のみデータ受信します。

[シリアルポートの Write 権限]

- All -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、すべての製品でデータ送信します。(初期設定値)
- None -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、すべての製品がデータ送信しません。
- Only first -- 同一の COM ポート番号に複数の IP アドレスがリスト登録されている場合、リストの一番上に登録されている製品のみデータ送信します。

[“Keep alive”送信間隔] -- “Keep alive”パケットの送信間隔を指定します。

(初期設定値：チェックなし)

※ ConfigTool で「Keep alive 送信間隔」(第2章)を設定した場合も本設定と両方の設定が有効になります。

[応答がない場合の間隔] -- “Keep alive”パケットに対して応答がない場合に、指定した時間間隔で“Keep alive”パケットを送信します。

[指定時間“Keep alive”に対する応答がなければ“Keep alive”を停止する]

- 指定時間“Keep alive”パケット送信に対する応答がない場合に、“Keep alive”パケットの送信を停止します。(初期設定値：チェックなし)

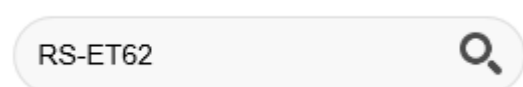
第4章 通信サンプルアプリケーションについて

ホームページよりダウンロードした通信サンプルアプリケーション (RS-ET62_terminal.exe) では、「TCP/IP」「COM ポート」の2通りの接続方法で通信が可能です。

● RS-ET62 通信サンプルアプリケーションのダウンロード

ホームページ右上の検索欄に「RS-ET62」と入力し検索します。

<https://www.ratocsystems.com/>



下記ダウンロードページへのリンクをクリックします。

PoE to RS-232C コンバーター RS-ET62 - ラトックシステム

[www.ratocsystems.com > products > wireless > et62](https://www.ratocsystems.com/products/wireless/et62)

表示された RS-ET62 製品ページの「ダウンロード」をクリックし

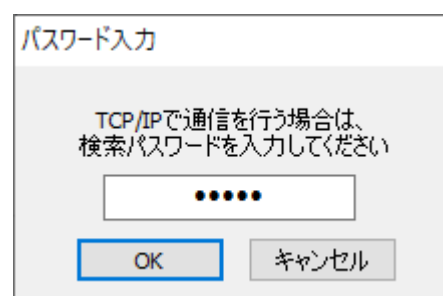


「RS-ET62 通信サンプルアプリケーション」をダウンロードします。

(4-1) 通信サンプルアプリケーションについて

通信サンプルアプリケーションを起動すると、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力し「OK」をクリックします。(工場出荷時のパスワードは「ratoc」となっています。)

パスワードは「(2-5) ConfigTool オプション設定 [検索パスワード]」で変更することができます。



■ TCP/IP で接続の場合

IP アドレス/MAC アドレスの一覧から通信を行うデバイスを選択し「TCP/IP で接続」をクリックすると、データを送受信する画面が表示されます。

※ TCP/IP 通信を行うには、本製品の IP アドレスを同じネットワークに所属させておく必要があります。(出荷時の IP アドレスは”192.168.11.2”)

The screenshot shows the 'RS-ET62 通信サンプルプログラム' (RS-ET62 Communication Sample Program) window. It is divided into two main sections: 'TCP/IP' and 'COMポート' (COM Port). In the 'TCP/IP' section, there is a table with two columns: 'IPアドレス' (IP Address) and 'MACアドレス' (MAC Address). The first row shows '172.30.128.124' and '7C:87:CE:E7:A7:2B' respectively, both highlighted with a red box. Below this table, the '選択中のデバイス' (Selected Device) is also '7C:87:CE:E7:A7:2B', and a 'TCP/IPで接続' (Connect via TCP/IP) button is highlighted with a red box. In the 'COMポート' section, the 'COMポート' dropdown is set to 'COM5', and a 'COMポートに接続' (Connect to COM Port) button is visible. A note at the bottom of this section states: 'RS-ET62 に割り当てられた COMポートを選択してください。その他の COMポートは使用できません。' (Please select the COM port assigned to RS-ET62. Other COM ports cannot be used). To the right of the main window is a separate 'TCP/IP通信' (TCP/IP Communication) window. It contains two large text areas for '送信データ' (Transmit Data) and '受信データ' (Receive Data). To the right of these areas are buttons for '送信' (Transmit), '受信データのクリア' (Clear Receive Data), and '切断' (Disconnect). The '切断' button is highlighted with a blue box.

■ COM ポートで接続の場合

本製品に割り当てられた COM ポート番号(第3章「(3-2) COM ポートへの割り当て」参照))を選択し「COM ポートに接続」をクリックすると、データを送受信する画面が表示されます。

※ 本サンプルアプリケーションは、本製品専用となります。

※ 通信パラメーターの設定は ConfigTool にて行います。

(第2章「(2-4) ConfigTool シリアル設定」参照)

This screenshot is similar to the one above, showing the 'RS-ET62 通信サンプルプログラム' window. In this case, the 'COMポート' (COM Port) dropdown menu is highlighted with a red box and set to 'COM5'. The 'COMポートに接続' (Connect to COM Port) button is also visible. The 'TCP/IP' section is present but not the focus. To the right, the 'TCP/IP通信' (TCP/IP Communication) window is shown, identical to the one in the previous image, with buttons for '送信' (Transmit), '受信データのクリア' (Clear Receive Data), and '切断' (Disconnect), where '切断' is highlighted with a blue box.

第5章 Appendix

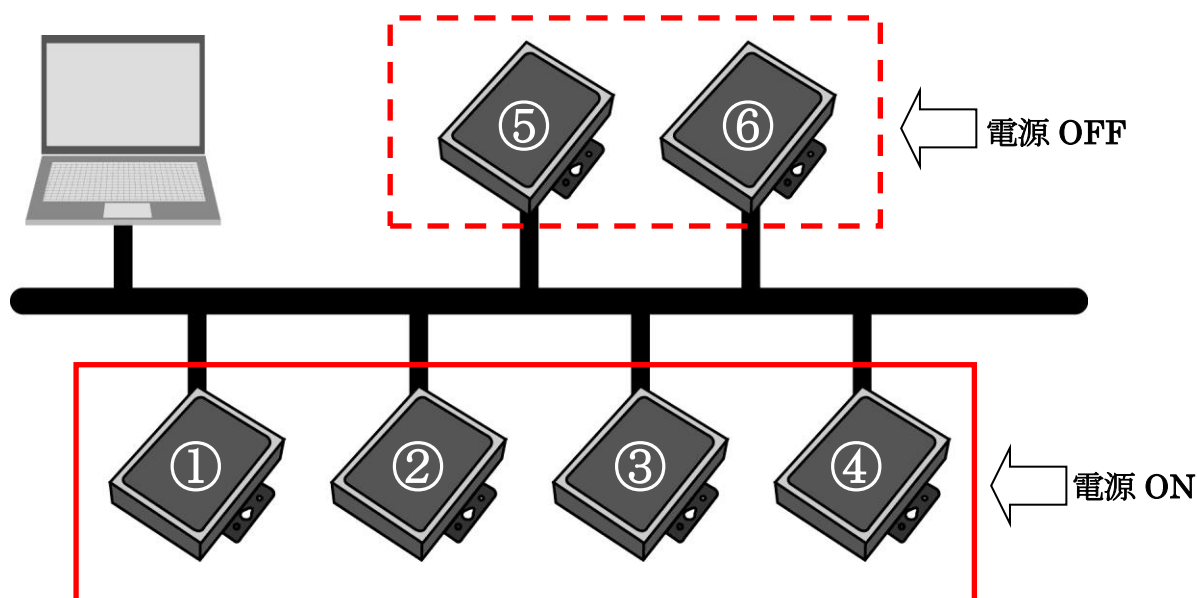
本章では、その他の設定方法や追加内容について説明します。

(5-1) 5 台以上接続時の COM ポート設定方法

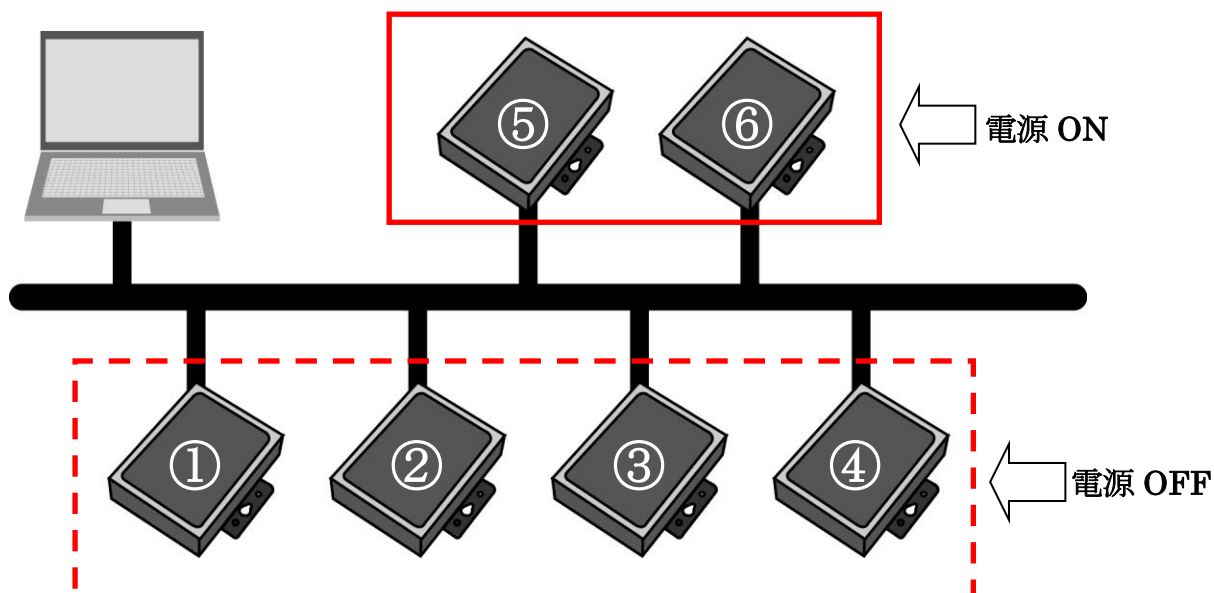
同一ネットワークに本製品が 5 台以上接続している場合、RATOC VSP では検出できる台数が 4 台までとなっておりますので、未検出となった製品を手動で設定するか、または以下の様に設定する必要があります。(6 台接続時を例に説明します。)

■ 自動検索で設定する場合

4 台分(①～④)の電源を ON にし、RATOC VSP で検出・設定します。



次に、設定済みの①～④の電源を OFF にし、RATOC VSP で検出・設定します。



製品に対するお問い合わせ

RS-ET62 の技術的なご質問やご相談の窓口を用意していますのでご利用ください。

ラトックシステム株式会社

I&L サポートセンター

〒550-0015

大阪市西区南堀江 1-18-4 Osaka Metro 南堀江ビル 8F

TEL 06-7670-5064

FAX 06-7670-5066

＜サポート受付時間＞

月曜～金曜（祝祭日は除く）AM 10:00 – PM 1:00

PM 2:00 – PM 5:00

また、インターネットのホームページでも受け付けています。

HomePage ➡ <https://www.ratocsystems.com>



個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関わる業務のみに利用し、他の目的では利用致しません。

ご注意

- ☑本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ☑本書の内容につきましては万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡願います。
- ☑本製品および本製品添付のマニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商品または登録商標です。
- ☑運用の結果につきましては、責任を負いかねますので、予めご了承ください。

RS-ET62 質問用紙

●下記情報をご記入願います。

法人登録 の方のみ	会社名・学校名			
	所属部署			
ご担当者 名				
E-Mail				
住所	〒			
TEL		FAX		
製品型番		シリアルNo.		
ご購入情報	販売店名		ご購入日	

●下記運用環境情報とお問い合わせ内容をご記入願います。

【パソコン/マザーボードのメーカー名と機種名】
【ご利用の OS】
【接続機器】
【お問合せ内容】
【添付資料】

 個人情報取り扱いについて

ご連絡いただいた氏名、住所、電話番号、メールアドレス、その他の個人情報は、お客様への回答など本件に関わる業務のみに利用し、他の目的では利用致しません。

